

つなぐながれ広がる

NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑬〉

胆江ゆめネットワーク

「読み聞かせを通じて、子どもたちに『幸せ』と思える時間を持たせたい」と語るのは、胆江ゆめネットワークの新渡戸智子実行委員長。同団体は、子どもたちが読書に親しみ、楽しめるよう、主に絵本などの読み聞かせ活動を行っています。23年度には読み聞かせ会を60回以上実施。胆江地区内の幼稚園児や小学生など約3500人に本の楽しさを伝えました。また、幼稚園児などの保護者を対象として、読み聞かせの大切さを知ってもらう講演会も実施しています。

同団体は、胆江地区内の読書ボランティア16団体と個人が集まり、平成20年4月に設立しました。各団体は、それまで胆江6市町村ごとに活動していましたが「奥州市になった

のだから、胆江地区全体として連携協力していくことが大切ではないか」という声が出た。きっかけは、以降、水沢区のメイプル地下「親子ライブラリーえほんの森」で毎月第1土曜日に行う読み聞かせ会や映画会を開催してきました。ほかにも、幼稚園や小学校の依頼で読み聞かせ会などを実施。ボイストレーニングや、絵本作家を招いた講演会などで、会員の資質や技術向上を図っています。21年からは、出前でお芝居を行う団体「お芝居デリバリーまりまり」と協力してイベントを開催するなど活動の幅を広げられました。

同団体は現在、ボランティア20団体、個人会員45人を抱えています。設立から徐々に知名度も高くなり、読み聞かせの依頼が多く寄せられる

子どもたちが絵本に親しむことができる「えほんの森」での大型絵本を使った読み聞かせ会



ように。会員は、家事や仕事などで忙しい日々を送る中でも積極的に活動に参加しています。「読み聞かせを楽しみにしている子どもたちのためにも、依頼を断ることなく、全て応えられる体制を維持していきたいですね」と新渡戸実行委員長は話します。

■胆江ゆめネットワーク事務局（水沢図書館内 ☎ 3511）



読み聞かせを行なっている会員の皆さん

interview



胆江ゆめネットワーク
実行委員長

新渡戸 智子さん (64)

この活動は子育て支援だけでなく、世代、地域間交流にもつながっています。子どもたちはもちろんのこと、大人も喜ぶ姿を見られることがうれしいです。読み聞かせは、子どもたちに本の楽しさだけでなく、愛情を伝えることができます。周りの大人たちが積極的に読み聞かせをするようになってくれたら、と思います。



絵本の読み聞かせ講演会に参加した
松崎 麻美さん（水沢区）と
拓巳ちゃん（4） 望ちゃん（1）

子どもの通っている幼稚園で、「絵本の読み聞かせ講演会」を聞きました。講演会を聞く前から子どもたちが寝る前に読み聞かせをしていましたが、あらためて本と読み聞かせの大切さを感じました。講演のなかで、オススメの本が紹介されていたので、今度はその本の読み聞かせをしたいです。

NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎ 4200）までお問い合わせください。

●春休みサイエンス・ワーク ショップ

【人体の不思議】
日時：3月25日 日 午後1時半
講師：中島達雄さん（サイエンスコンダクター）
【デジカメで太陽を撮ろう！】
日時：3月25日 日 午後2時半
講師：永村治男さん、西形英治さん（サイエンスコンダクター）
持ち物：デジタルカメラ
定員：20人（先着順・要申し込み）
※共通事項
場所：奥州宇宙遊学館
問い合わせ・申込先：奥州宇宙遊学館（☎ FAX 2020）

●地域医療講座

日時：3月16日 日 午後1時半～2時半
場所：市民活動支援センター
内容：県立胆沢病院の鈴木俊郎医師を講師に招き、「医療連携パス」や在宅緩和ケアについての講演会を行います
参加料：無料（申し込み不要）
主催：がん患者と家族の会「奥州かたくりの会」
問い合わせ：市民活動支援センター（☎ 4200）

●O.4%支援事業説明会・補助金申請書の書き方セミナー

日時：3月18日 日 午後1時～
場所：水沢公民館
内容：24年度事業の実施団体募集についての説明会です。申請を検討している団体は必ず参加してください
問い合わせ：本庁まちづくり推進課市民活動係（☎ 2111 内 464）

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です